

和歌山県立医科大学薬学部 シラバス

科目名	事前学習 I
科目名 (英文)	Pre Clinical Learning I
学部・学科	薬学部・薬学科
配当年次・学期	4年次・後期
クラス	全クラス
履修区分	必修
授業担当者	須野 学
科目ナンバリング	P6084JA
関連科目	事前学習 II、病院・薬局実習、病院・薬局薬学

本科目が求めるアウトカム・コンピテンシー

薬剤師の活動、特に医療機関に勤務する薬剤師の役割への理解、患者の薬物療法に携わる薬剤師の役割と責任への理解を深める。医療機関に勤務する薬剤師の活動・使命は、患者（入院）のみならず生活者（退院時）に及んでいることを踏まえ、医薬品を扱う将来の薬剤師として、薬の物質としての理解のみならず、患者の生命・生活への理解を深める。

ディプロマ・ポリシーにおける本科目が養う資質・能力

・人の健康に携わる職業である薬剤師として、より高い倫理観、社会人としての良識を備えているもの

事前学習 I は、地域・社会の中で貢献する薬剤師には幅広い活躍領域が存在し、患者ならびに生活者に、薬を物質として提供扱うだけでなく、生命と健康、生活に対応する能力と行動が要求されることに理解する。病院薬局実習にのぞむ将来の医療従事者としての倫理観、責任ある社会人としての良識を獲得するものである。

アウトカム・コンピテンシーへの到達に関する評価

基本的な知識の再生のみではなく、薬剤師の役割・使命への理解に基づいた思考、行動を、見学时および討議・発表時の行動から評価する。また、レポートでは、見学により得た知見、特に、医療機関に勤務する薬剤師の職能の一部を紹介し解説した上で、その職能の患者・生活者の健康への影響と今後の自らの学びのあり方を考察していることを評価する。

授業計画

回	学習内容・課題	学習方法 (場所)	評価方法
1	授業ガイダンス, 導入講義	講義 (講義室)	レポート
2	病院薬剤師の業務 1 (和歌山県立医科大学附属病院薬剤部)	講義 (講義室)	レポート
3	病院薬剤師の業務 2 (和歌山県立医科大学附属病院薬剤部)	講義 (講義室)	レポート
4	専門薬剤師について (和歌山県立医科大学附属病院薬剤部)	講義 (講義室)	レポート
5	薬局薬剤師の使命と役割 1 (和歌山県薬剤師会)	講義 (講義室)	レポート
6	薬局薬剤師の使命と役割 2 (和歌山県薬剤師会)	講義 (講義室)	レポート
7	在宅医療における薬剤師の役割 1 (和歌山県薬剤師会)	講義 (講義室)	レポート
8	在宅医療における薬剤師の役割 2 (和歌山県薬剤師会)	講義 (講義室)	レポート
9	災害, 救急対応における薬剤師 (日赤和歌山医療センター薬剤部)	講義 (講義室)	レポート
10	地域医療における薬剤師の役割 1 (和歌山県紀南地区病院薬剤部)	講義 (講義室)	レポート
11	地域医療における薬剤師の役割 2 (和歌山県紀南地区病院薬剤部)	講義 (講義室)	レポート
12	行政の現状と薬剤師について (和歌山県庁職員)	講義 (講義室)	レポート
13	バイタルと薬剤師 1	講義 (講義室)	レポート
14	バイタルと薬剤師 2	講義 (講義室)	レポート
15	まとめ	講義 (講義室)	レポート

教科書

特に指定しない。

参考書

特に指定しない。

評価時期

レポート（毎回）

評価方法

レポート（100%）

評価基準

本科目は臨床実習に臨む医療人，社会人の姿勢を考慮した授業であることから，正当な理由なく欠席した場合は単位を認めない。

総評価の 60%以上で合格。

担当者の研究室等

研究室 601

オフィスアワー：毎週月曜日 12:40～13:40 17:30～18:30

備考、事前・事後学習課題

事前学習Ⅱスケジュール

		日目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
		時限 1, 2	3-5	1-6	1-6	1-6	1-6	1-6	1-6	1-6	1-6	1-6	1-6	1-6	1-6	1-6	1-6
グループ (学生1グループは5・6名)	A1																
	A2		水	SGD 調査		VS1	錠	疑義		製1	製2			軟	情1		散
	A3																
	A4																
	A5		疑義	水	SGD 調査		VS1	錠		情2	散	製1	製2		軟		情1
	A6																
	A7																
	A8		錠	疑義	水	SGD 調査		VS1		情1	情2	散			監		面
	A9																
	B1																
	B2			錠	疑義	水	SGD 調査			散	情1	情2	監				
	B3																
	B4																
	B5				錠	疑義	水	SGD 調査			散	情1	情2	製1	製2		
	B6																
	B7																
B8		SGD 調査				錠	疑義	水				軟	散	情2			製1
B9																	

		日目 17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	//	OSCE約1週間前		
		時限 1-6	1-6	1-6	1-6	1-6	1-6	1-6	1-6	1-6	1-6	1-6	1-6				
グループ (学生1グループは5・6名)	A1																
	A2		情2		監	面			SGD 調査								
	A3																
	A4																
	A5		監			面			SGD 調査								
	A6																
	A7																
	A8		SGD 調査	製1	製2	軟											
	A9																
	B1																
	B2		軟	VS1		製1	製2	面	SGD 調査								
	B3																
	B4																
	B5			面	軟		監	VS1	SGD 調査								
	B6																
	B7																
B8		製2		面	SGD 調査	情1	監	VS1									
B9																	

SGD1 リスクマネジメント関連項目

SGD2 地域医療と薬剤師活動関連項目

水：水剤 軟：軟膏剤 錠：錠剤 散：散剤

監：監査 疑義：疑義照会

情1：情報提供（薬局患者対応）

情2：情報提供（医療者） 面：患者面談 製1：無菌調整

製2：製剤 VS1：バイタル基礎

和歌山県立医科大学薬学部 シラバス

科目名	事前学習Ⅱ
科目名（英文）	Pre Clinical Learning Ⅱ
学部・学科	薬学部・薬学科
配当年次・学期	4年次・後期
クラス	全クラス
履修区分	必修
授業担当者	須野 学、岡田 浩、江頭 伸昭、今井 哲司、 伊藤 雄大、松本 みさき、土井 光則、山田 孝明、 射場 日佳里、岩井 佑磨、山下 哲、荻原 孝史、小柳 円花
科目ナンバリング	P6085JA
関連科目	事前学習Ⅰ、病院・薬局実習、病院・薬局薬学

本科目が求めるアウトカム・コンピテンシー

薬剤師の活動の基礎となる調剤技術、患者応対における態度ならびにコミュニケーション能力を習得する。医療機関に勤務する薬剤師の役割への理解、患者の薬物療法に携わる薬剤師の役割と責任への理解を深める。医療機関に勤務する薬剤師の活動・使命は、患者（入院）のみならず生活者（退院時）に及んでいることを踏まえ、医薬品を扱う将来の薬剤師として、薬の物質としての理解のみならず、患者の生命・生活への理解を深める。

ディプロマ・ポリシーにおける本科目が養う資質・能力

・人の健康に携わる職業である薬剤師として、より高い倫理観、社会人としての良識を備えているもの

事前学習Ⅱは、薬剤師は患者ならびに生活者に薬を正しく提供するだけでなく、患者ならびに生活者の生命と健康におけるニーズの多様性を考慮した対応（情報提供、態度、コミュニケーションスキル）が要求されることを理解し、そのスキル習得を目指す。

アウトカム・コンピテンシーへの到達に関する評価

本科目は、実習およびSGD形式で行う。実習では、病院薬局実習に向けて薬剤師業務の基本的技能やコミュニケーション能力、態度を実技より客観的に評価する。

授業計画

別紙のスケジュールによる。

教科書

実習書を提供する。

参考書

特に指定しない。

評価時期

ルーブリック（毎回）

最終試験（調剤技術まとめ時）

評価方法

ルーブリック（80%）

最終試験（20%）

評価基準

無断欠席がある場合、単位を与えない（公欠等は補習を行う）。

総評価の60%以上で合格

担当者の研究室等

研究室 601

オフィスアワー：毎週月曜日 12:40～13:40 17:30～18:30

備考、事前・事後学習課題